

子宮頸がんワクチン

ヒトパピローマウイルス(HPV)は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんを始め、肛門がん、膣がんなどのがんや尖圭コンジローマ等多くの病気の発生に関わっています。特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えています。

HPV 感染症を防ぐワクチン(HPV ワクチン)は、小学校6年～高校1年相当の女子を対象に、定期接種が行われています。

出典:厚生労働省ホームページ QRコード



※名古屋市【子宮頸がん予防接種の積極的な勧奨の再開について】

子宮頸がんの予防接種は、平成25年6月の国の通知により積極的な勧奨の差し控えを行ってきました。しかし、令和3年11月26日に国から「ヒトパピローマウイルス感染症による定期接種の今後の対応について(厚生労働省健康局長通知)」が通知されたため、名古屋市でも個別通知を再開しています。

【接種の受け方】当院は完全予約制

公費・自費ともに、**14時から16時の間**に当院にお電話していただき、必ずご予約をお取りください。

来院時、名古屋市に住民票があることがわかる公的な書類(子ども医療書やマイナンバーカード)及び健康保険証等の氏名、住所、生年月日を確認出来るものをお持ちください。

	サーバリックス 2価	ガーダシル 4価	シルガード 9価
予防できる ヒトパピローマ ウイルス のタイプ	16型、18型 (子宮頸がんに関与) ※取り寄せに2週間から 1か月かかります。	16型、18型 (子宮頸がんに関与) (肛門がんに関与) 6型、11型 (尖形コンジローマにも関与)	16型、18型、31型、33型、 45型、52型、58型 (子宮頸がん・肛門がんに関与) 6型、11型 (尖形コンジローマにも関与)
接種方法	0.1.6ヶ月の3回 筋肉注射	0.2.6ヶ月の3回 筋肉注射	0.2.6ヶ月の3回 筋肉注射
公費・自費	公費(自己負担なし) 又は自費(2万円)	公費(自己負担なし) 又は自費(2万円)	自費のみ (29,000円)
無料接種年齢	小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子 (名古屋市に住民票がある方)		無料接種なし 9歳以上の女性
キャッチアップ接種 (名古屋市に 住民票がある方)	平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの方で 子宮頸がんワクチン接種を3回完了していない方 ※公費は、2022年4月から2025年3月の 3年間となります(厚生労働省より)		キャッチアップ接種なし
副反応	注射部位の痛み、赤み、腫れ、かゆみ、頭痛、手足の痛み、注射部位のしこり、蕁麻疹、 疲労感、腹痛、不快感 等 ※シルガード9価は、上記症状に発熱・吐き気・息苦しさ・鼻血・感覚が鈍くなる等追加		
その他・特記	①原則として、新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは同時に接種 できません。互いに片方のワクチンを接種してから2週間後に接種してください。 ②シルガードは、アジア人に特に感染が多くみられるHPV52/58型のVLP (ウイルス様粒子)を含み、子宮頸がんの原因となるHPV型の88.2%をカバーします。 ③来院の際、予防接種の記録を記入しますので、母子健康手帳をお持ちください。 ④18歳未満の方の接種には、原則として保護者(母親)の同伴が必要となります。		